



発行所 夕刊三重新聞社  
〒515-0821 三重県松阪市外五曲町15  
FAX (0598) 21-8500  
社務部電話 (0598) 21-8382  
電子メール info@sankei-shimane.com  
郵便振替口座 00810 9-13245  
夕刊三重トラスト  
〒代 代 (0598) 21-9700  
購読料  
1ヵ月1700円、1部80円  
©夕刊三重新聞社 2021

# 元気で躍進 地域経済

## 尾鍋組に知財功労賞

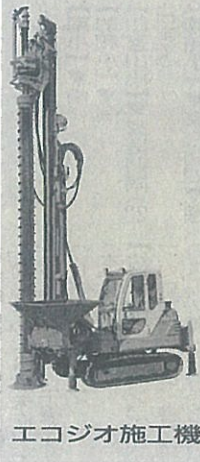
### 環境負荷少ない 特許のエコジオ工法が評価



表彰状を持つ尾鍋社長(右)と盾を持つ竹上市長=市役所で

松阪市飯高町宮前の株式会社尾鍋組(尾鍋哲也代表取締役社長)が、2021(令和3)年度の知財功労賞(知的財産権制度活用優良企業等表彰)で特許庁長官表彰に選ばれた。20日午後4時に尾鍋社長(59)が市役所を訪れ、竹上真人市長に受賞

報告を行った。経済産業省特許庁では毎年、知財権制度の発展と普及・啓発に貢献した個人と、制度を有効に活用し円滑な運営・発展に貢献した企業を表彰している。知財功労賞のうち企業を対象とするのが知的財産権制度活用優良企業等表彰で、今回は大臣表彰に旭化成(株)(東京都)と帝人(株)(同)、YKK(株)(東京都)など7社、長官表彰に尾鍋組と(株)島



エコジオ施工機

津製作所(京都府)、ヤマハ(株)(東京都)、ヤマハ発動機(株)(静岡県)など11社が選ばれた。表彰式は16日に東京で行われた。尾鍋組は、公共土木事業と地盤改良事業を事業の両輪とする。地盤改良事業は、同社が三重大学と共同開発した独自のエコジオ工法によるもので、施工代理店方式で全国展開している。同工法ではこれまでに6件の特許を取得、さらに8件の特許を出願中で、そうした知的財産権をうまく活用して全国展開のビジネスにつなげていることが評価された。

改良に使われるコンクリートや鉄のくいを一切使わず、自然素材の砕石を地中に筒状に掘った穴に詰めて押し固めるというもの。専用の重機「エコジオ施工機」で穴を掘り、砕石を詰め込んでいく。その機械の施工管理装置(ソフトウェア)や穴を掘って砕石を押し固める装置「アタッチメント」などが特許を取っている。

2010(平成22)年にエコジオ施工機1号機が完成。同年12月に施工代理店をつくるエコジオ工法協会を立ち上げ、代理店に対してエコジオ施

工機を販売し、設計や施工技術、営業方法のノウハウを提供。対価として、特許技術の権利使用料に相当するロイヤルティと協会加盟金を得ている。

この日の報告で尾鍋社長は「脱炭素と言われている今、エコジオ工法はセメント・鉄と比べてCO2の排出量は100分の1。土地の価値を下げにくいというメリットもある。現在はまだ住宅地盤改良というマーケットの約2%だが、持続可能な社会に貢献できる技術として世の中に広めていきたい」と話した。